

## 平成28年度決算に基づく南三陸町健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定する南三陸町における健全化判断比率および資金不足比率について、平成28年度決算に基づく算定結果は次のとおりです。

### ▶健全化判断比率

区分	平成28年度 南三陸町比率	県内平均	早期健全化基準 (黄信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	— % (▲41.10)		14.79%	20.00%
連結実質赤字比率	— % (▲48.80)		19.79%	30.00%
実質公債費比率	9.3%	8.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率	— %	8.4%	350.0%	

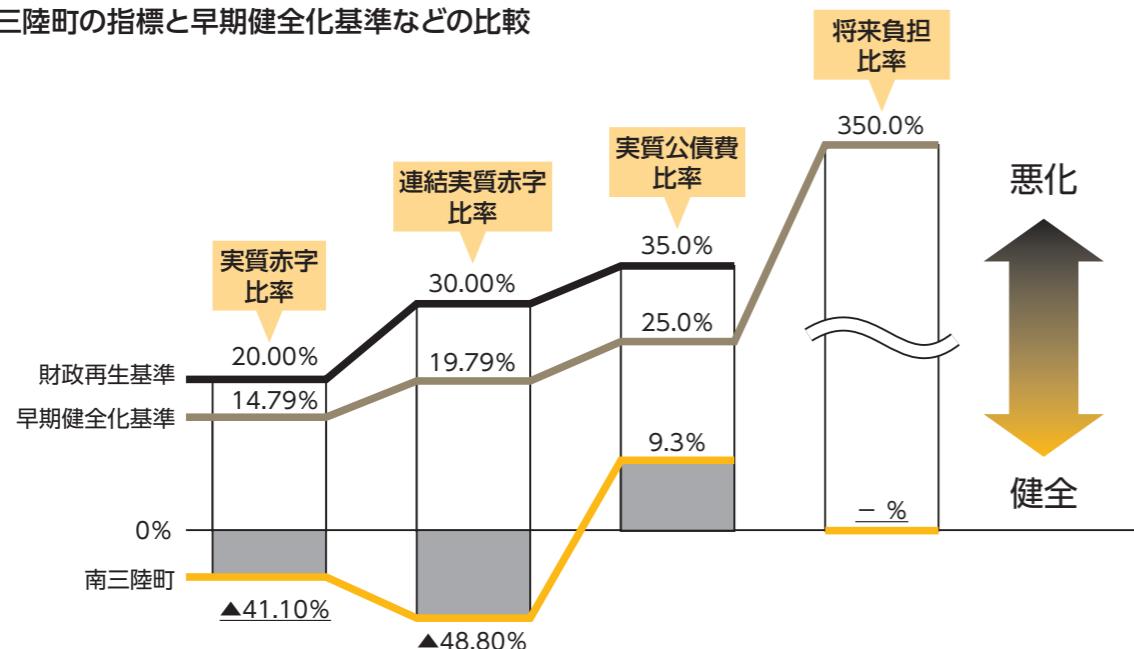
※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「— (なし)」で表示し、黒字の数値を参考値として▲で表示しています。

### ▶資金不足比率

区分	市場事業	漁業集落 排水事業	公共下水道事業	水道事業	病院事業	訪問看護 ステーション事業
資金不足比率	— %	— %	— %	— %	— %	— %
経営健全化基準				20.0%		

※資金不足額がないため、資金不足比率は「— (なし)」と表示しています。

### ▶南三陸町の指標と早期健全化基準などの比較



【実質赤字比率】福祉、教育、まちづくりなどを行う町の一般会計の赤字額を、標準的な収入と比較して指標化したものです。平成28年度も黒字決算となったことから、算定されていません。

【連結実質赤字比率】すべての会計の赤字や黒字を合算して、町全体の資金不足の程度を把握するため、標準的な収入との比較により指標化される比率です。全会計黒字決算となっていることから、算定されていません。

【実質公債費比率】標準的な収入に対する一般会計の実質的な借入金返済額割合を指標化したものです。平成28年度は、前年度と比較して0.5%減少し、早期健全化基準未満となっています。これは、一般会計が持っている地方債の償還が減少し、そのため元利償還金が減ったことおよび地方税の収入が増加したことによります。

【将来負担比率】借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。平成28年度は、一般会計の財政調整基金や寄附金による震災復興基金の積立金があることなどから、算定されていません。

※標準的な収入 (標準財政規模) → 53億3,069万5千円 (平成28年度)

## 借入金(町債・企業債)の状況

町では、公共施設を整備するために借入金などで資金を調達しています。

一般会計では、前年度に引き続き、災害援護資金貸付事業(2,900万円)の借り入れを行い、他にも、防火水槽の設置や消防小型動力ポンプ積載車の購入などの防災対策整備事業(1,940万円)の借り入れも行いました。また、災害公営住宅の建設に伴い公営住宅建設事業債(17億3,320万円)も借り入れ、平成28年度の借入総額は29億9,472万8千円となりました。借入総額のうち、地方交付税の不足分を補うための臨時財政対策債の借入額は2億1,000万円で、約14.3%を占めています。

他会計においては、平成28年度の借り入れは行いませんでした。

町としての平成28年度末現在高の合計額は161億2,710万9千円となり、前年度末から約13億3,700万円増加しています。

区分	平成27年度末現在高	平成28年度借入額	平成28年度償還額	平成28年度末現在高
一般会計	103億5,703万3千円	29億9,472万8千円	12億5,617万8千円	120億9,558万3千円
市場事業特別会計	7,113万9千円	0円	1,546万5千円	5,567万4千円
漁業集落排水事業特別会計	1億496万9千円	0円	748万9千円	9,748万円
公共下水道事業特別会計	16億5,891万3千円	0円	9,323万9千円	15億6,567万4千円
水道事業会計	21億1,816万9千円	0円	1億4,461万1千円	19億7,355万8千円
病院事業会計	4億7,980万8千円	0円	1億4,066万8千円	3億3,914万円
合計	147億9,003万1千円	29億9,472万8千円	16億5,765万円	161億2,710万9千円

## 平成28年度 特別会計・企業会計決算

特別会計区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残額
国民健康保険特別会計	26億62万2千円	23億9,189万5千円	2億872万7千円
後期高齢者医療特別会計	1億3,455万9千円	1億3,202万4千円	253万5千円
介護保険特別会計	16億5,957万8千円	15億3,068万8千円	1億2,889万円
市場事業特別会計	3,417万1千円	3,012万3千円	404万8千円
漁業集落排水事業特別会計	3,392万3千円	2,572万9千円	819万4千円
公共下水道事業特別会計	3億4,112万円	3億2,314万1千円	1,797万9千円

企業会計区分	予算額	決算額
水道事業会計	収入	5億7,046万円
	支出	5億6,098万6千円
	収入	22億4,084万円
	支出	24億3,507万4千円
病院事業会計	収入	21億5,092万9千円
	支出	21億5,092万9千円
	収入	2億3,200万6千円
	支出	3億6,490万7千円
訪問看護ステーション事業会計	収入	5,473万5千円
	支出	5,473万5千円